



浄水丸

JOSUIMARU

■本体仕様

品名・(型式)	／浄水丸(JM-III型)
材質	／(本体・台座)SUS304製、(カバー)ABS製
ろ過流量	／33L/分(JIS S 3201での試験結果)
使用可能な最小動水圧	／0.01MPa以下
適正使用水圧	／0.25MPa～0.7MPa
配管口径	／15A(Rc 1/2)※取付け可能配管口径13mm～25mm
サイズ	／W234.5×D157×H343 (戸建用:W282×D252×H408)
重量	／4.0kg※通水前の状態 (戸建用:5.5kg※通水前の状態)

■カートリッジ(カーボンフィルター)仕様

型式	／JM-240M型
ろ材の種類	／モミ殻活性炭・イオン交換体・不織布
材質	／ポリプロピレン・ABS製
浄水能力	／遊離残留塩素200,000L(1.0mg/L、20L/分、除去率80%時点)
サイズ	／直径89mm×高さ240mm
重量	／約235g ※通水前の状態

カートリッジは、最長1年に1回の交換が必要です。

※(注)水質等の条件により、期間内でもカートリッジに目詰まりが発生し、使用水量が減る場合があります。十分な水量が得られない場合はカートリッジの交換を行ってください。

※(注)定期的なカートリッジの交換を行わないと、カートリッジが破損する場合がありますので、必ず定期的なカートリッジの交換を行ってください。

■製造元

KAK 協立エアテック株式会社
〒811-2414 福岡県粕屋郡篠栗町大字和田1034番地の4
お問い合わせ TEL.092-947-6101

■販売店



施工要領書

目次

安全上のご注意	1
施工上のお願い・寸法図	2
各部の名称	3
同梱されているもの	4
施工要領(マンション用)	5
施工要領(戸建用)	9
初期通水	13
仕上げ	14
製品仕様	裏表紙



マンション用



戸建用

設置工事は必ず販売店または専門業者が行ってください。

(※給水装置工事主任技術者の資格が必要です)

設置工事を行う方へのお願い

この施工要領書は、工事作業者が正しく安全な設置工事をするために必要な手引書です。工事開始前に必ずお読みください。本書の記載事項に従って工事をされなかったことが原因で生じた故障・事故などは、保証の対象にはなりませんので、ご注意ください。設置工事後、この施工要領書は取扱説明書と一緒にお客様にお渡しください。



人への危害や財産の損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる被害や程度を区分して説明しています。



警告

「死亡または重傷を負う恐れがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の記号で説明しています。



禁止

してはいけない内容(禁止事項)です。



指示

実行しなければならない内容(強制事項)です。



警告



■上水道直結の配管工事は、当該水道局(水道事業管理者)の認定水道工事業者が指定された配管材料を使用して施工してください。(事故、故障の原因になります。)



■60℃以上の水を通水しないでください。(本体が破損し、火傷などの事故につながる恐れがあります。)

■静止水圧が0.7MPa以上の環境下で使用しないでください。(本体が破損し、死亡や重傷を負う恐れがあります。※0.7MPaを超える場合は、本製品の使用をお控えになるか、または減圧弁を設けてください。)



注意



■満水重量に十分耐えられる場所に据え付けてください。(転倒などの事故の原因になります。)

■工事は、施工要領書に従って確実に行ってください。(水漏れや破損等の原因になります。)

■水道水または水道法水質基準に適合した水をご使用ください。(水道法水質基準に適合していない水を使用すると、お客様の健康を害する場合があります。)

■屋外設置の場合は、専用カバーの台座(マンションのパイプシャフト内に設置の場合は本体底部)をアンカーボルトで固定してください。(地震などにより転倒し、怪我や故障の原因になる場合があります。)*P7・P11参照

■水が流出しても支障のないよう、防水措置されており排水ができる場所に設置してください。

■設置する場合は、搬入搬出・配管工事・保守点検・性能維持のため、必ず周囲のスペースを確保してください。*P6・P10参照



■初期通水後(またはカートリッジ交換後)、各接続部と開閉部から漏水がないかを確認してください。(輸送中のネジの緩みや不十分な増し締めにより、漏水事故が発生する場合があります。)*P8・P12参照

■配管に保温材を取付けてください。また、0℃以下の凍結の恐れがある場所に設置する場合は、凍結防止帯等を取付けてください。但し、-5℃以下になる場合は、室内(小屋)に設置するなどの凍結防止対策を講じてください。(配管及び本体が破損して怪我や故障につながる恐れがあります。)*P14参照

■浄化槽などから強い下水ガス(硫化ガス)が出ているところには設置しないでください。(本体腐食の原因になります。)

■海浜地域で直接潮風が当たる場所や温泉地域など特殊な場所には設置しないでください。(本体腐食の原因になります。)

<工事について>

■本製品は上水道に直結するため、当該水道局の条例に基づき、認定水道事業者が指定された配管材料(部品)を使用の上、設置工事を行ってください。※地域により、使用材料(部品)や施工方法が若干異なります。

■原水は必ず水道水または水道法水質基準に適合した水をご使用ください。

■給湯システムの2次側には接続しないでください。※高温水により、機器故障の原因になります。

■必ず適正使用水圧内(0.25MPa~0.7MPa)でご使用ください。

※水圧が低いと、シャワーの水の出が弱い・トイレが流れにくい等、十分な水量が得られない場合があります。

■建物側の配管が13A~25Aの環境下でご使用ください。

■本製品は、水道メーターと分岐手前の水道管に取り付けてください。(P5・P9参照)

※分岐した配管に取り付けると、部分浄水になる場合があります。

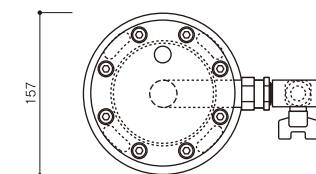
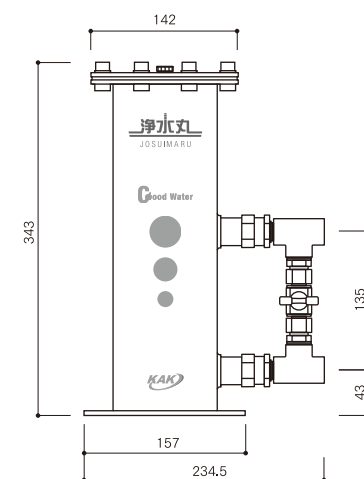
■製品の入水口と出水口を正しい方向で取り付けてください。※間違った方向で取り付けると、水が出ません。

■配管は接続するまでは必ず先端を保護し、異物が入らないように注意してください。

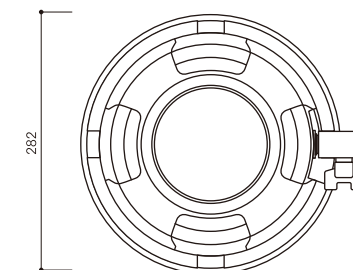
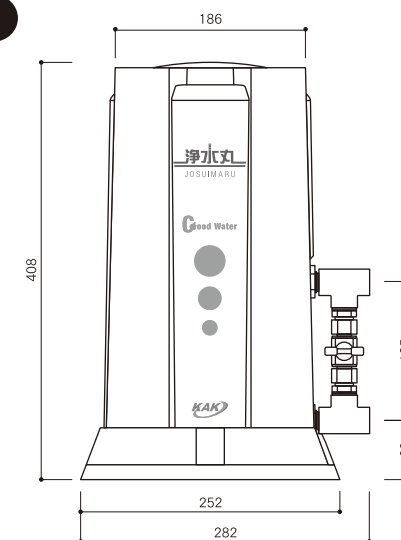
■浄水した水を屋内の全蛇口に供給しますので、残留塩素調整機能にて0.1mg/L程度(水道法基準)の塩素が残留するように調整してください。

寸法図

マンション用

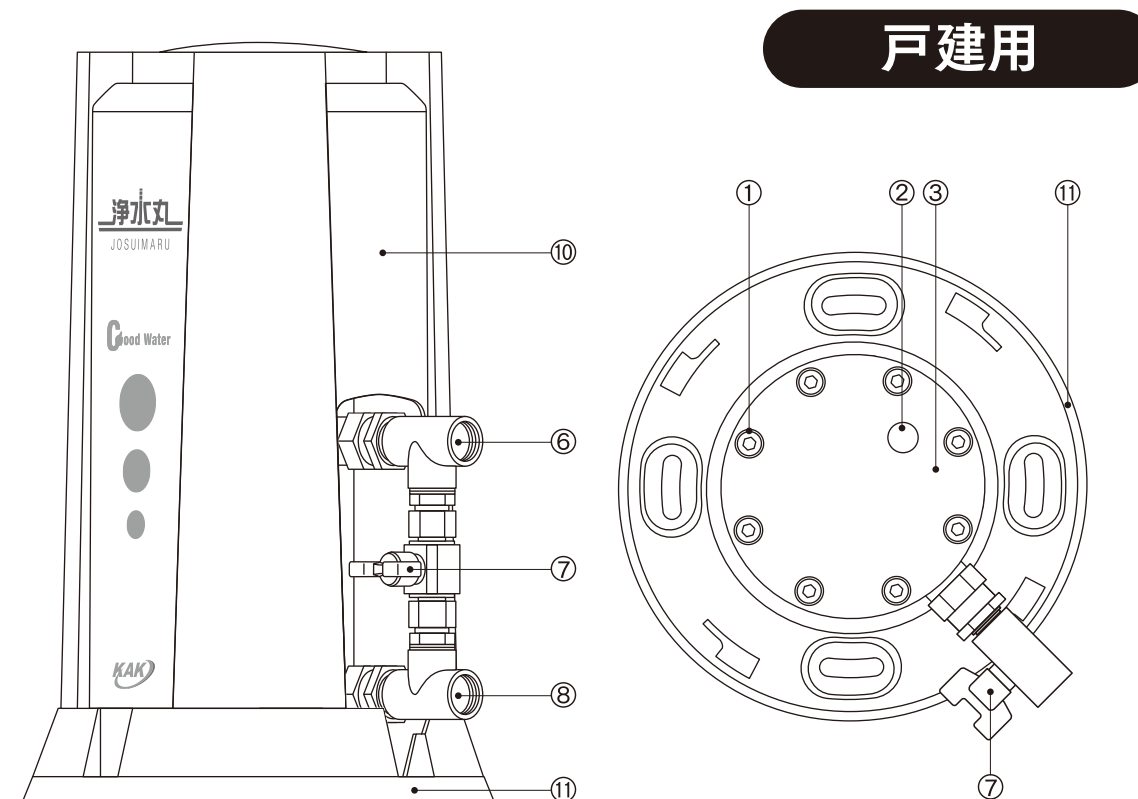
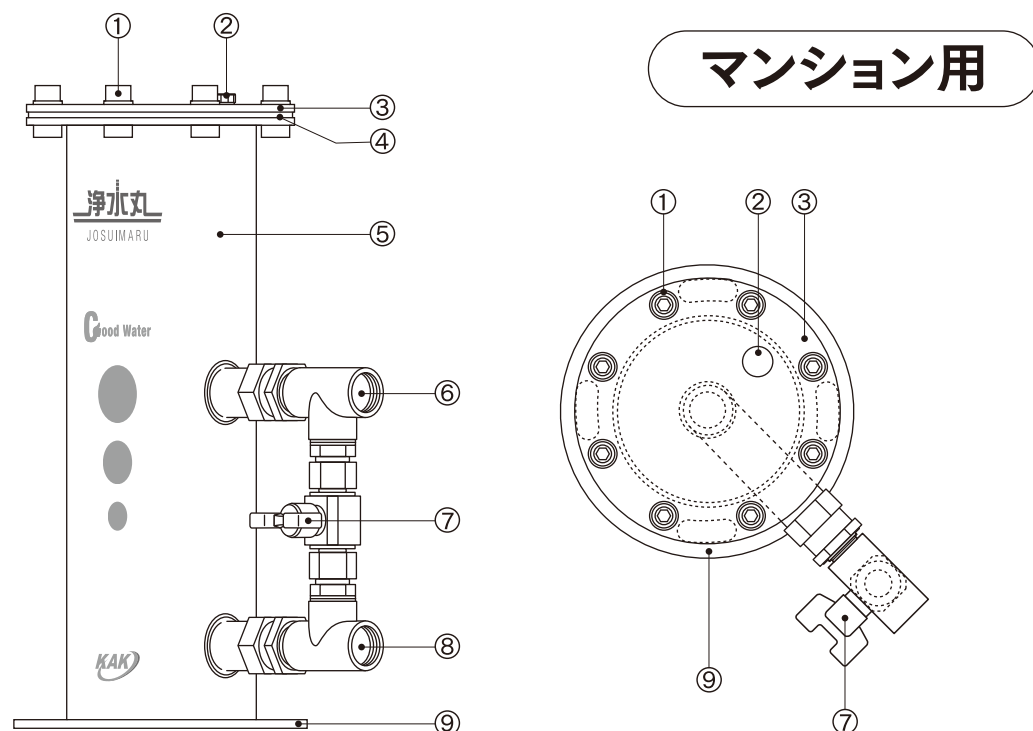


戸建用



Good Water 各部の名称・同梱されているもの

JM-III



各部の名称

① 管体ボルト(8本) メイン管体と管体キャップを固定するボルトです。	⑥ 入水口(Rc 1/2) ※逆流防止弁内蔵 ここから水道水を入水します。
② 管体内圧力開放プラグ メイン管体内の水圧やエアーを開放します。	⑦ 残留塩素調整バルブ 浄水と水道水の切替ができます。
③ 管体キャップ カートリッジの交換時に開閉するキャップです。	⑧ 出水口(Rc 1/2) ここから浄水を出水します。
④ 管体シールパッキン メイン管体と管体キャップの接続部専用シールパッキンです。	⑨ 本体固定用台座 マンション用 設置時にアンカーボルトで固定します。
⑤ メイン管体 カートリッジ(高性能カーボンフィルター)を装着するメイン管体です。	⑩ 戸建用専用カバー 戸建用 屋外に設置する時に装着する専用カバーです。
	⑪ 戸建用専用台座 戸建用 設置時にアンカーボルトで固定します。

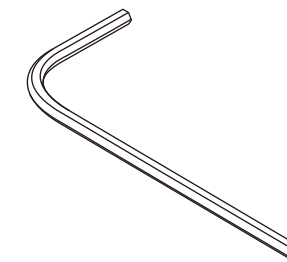
同梱されているもの



施工要領書

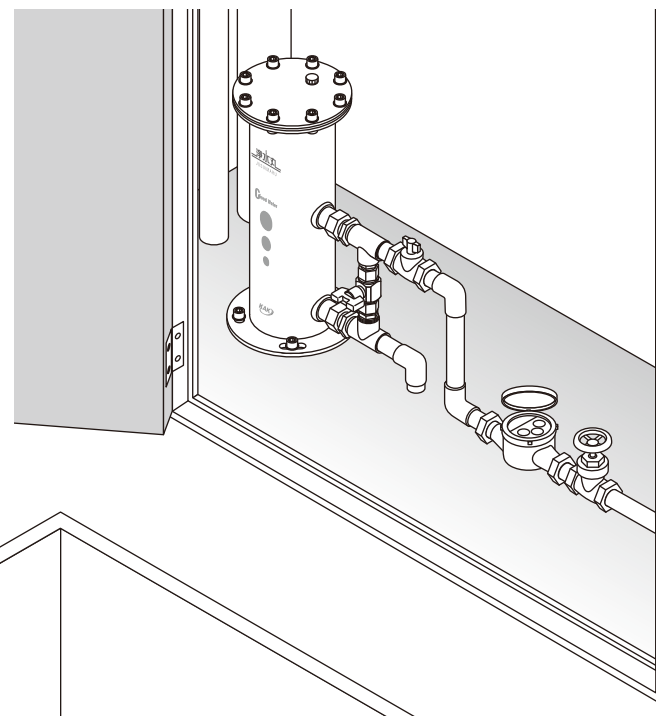


取扱説明書
(保証書付)

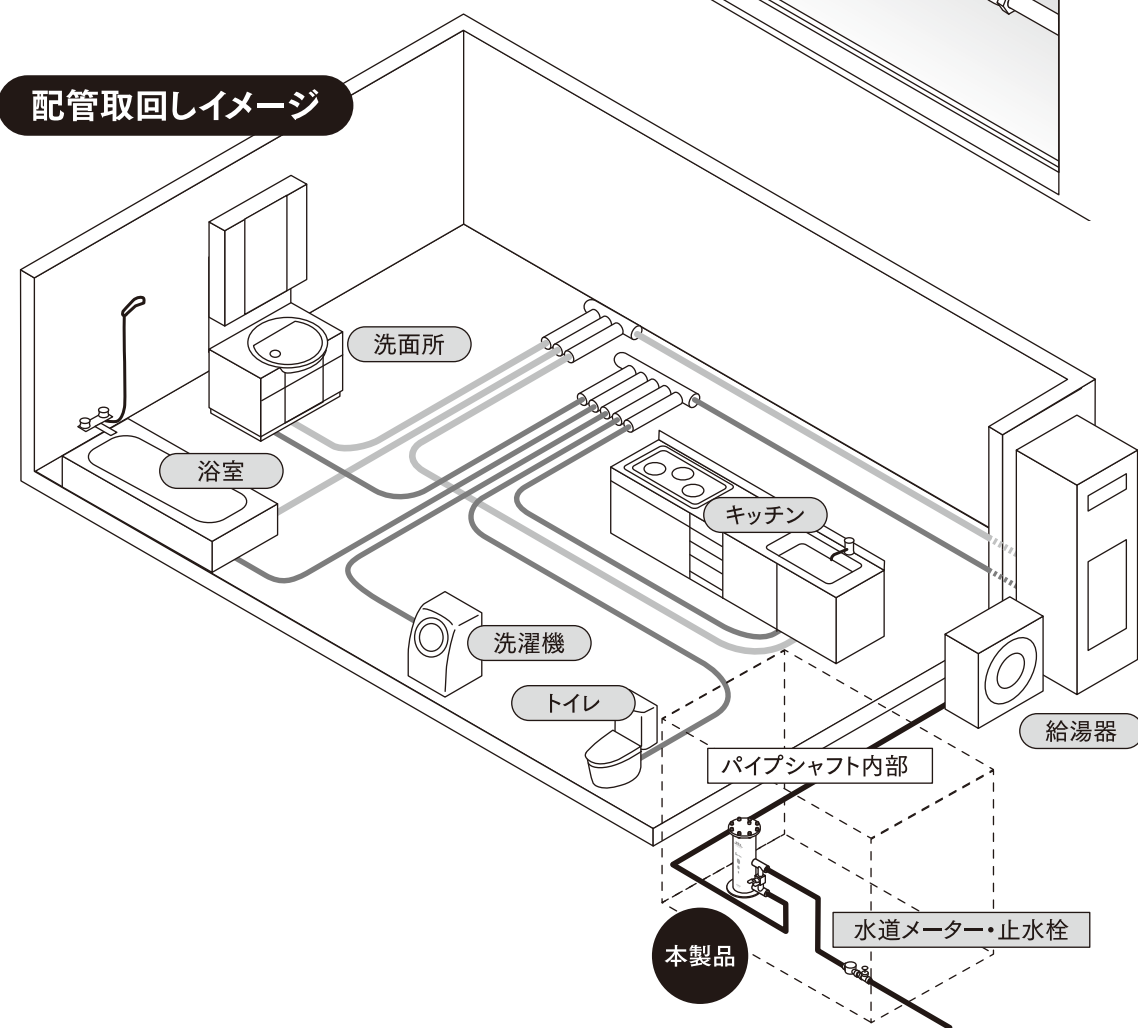


六角レンチ(6mm)
管体キャップを開閉する際に
使用する専用工具です。

設置イメージ

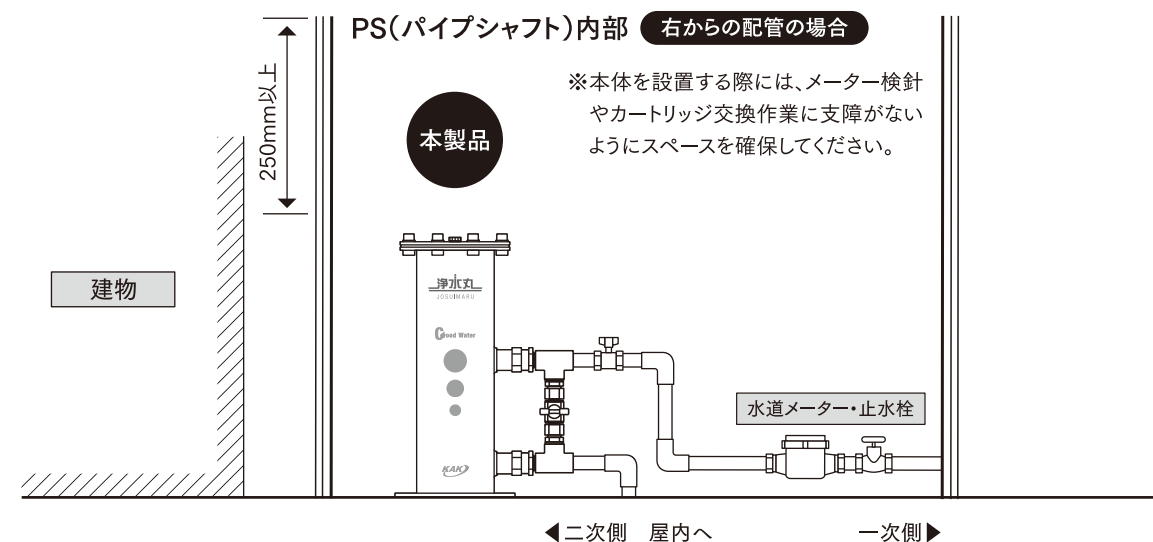


配管取回しイメージ



施工要領図

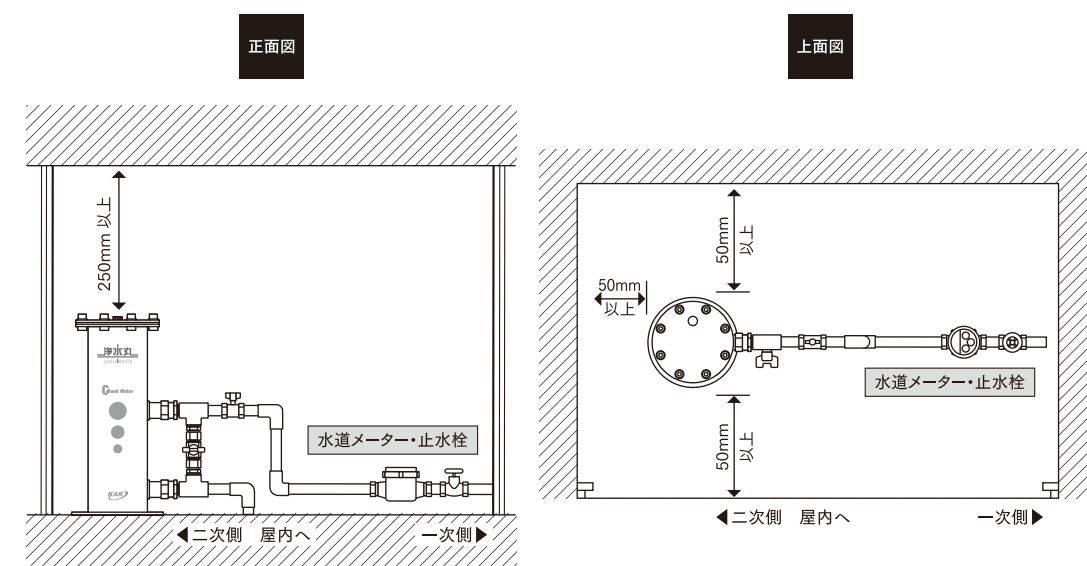
本要領図は製品の機能・取扱い便性を有効にするための参考図です。
各水道事業体により施工設計や指定使用部材等異なりますので、予め管轄
の水道事業体と打合せを行ってください。



マンション用据え付けスペースの確認

[マンション用の設置所要スペース]

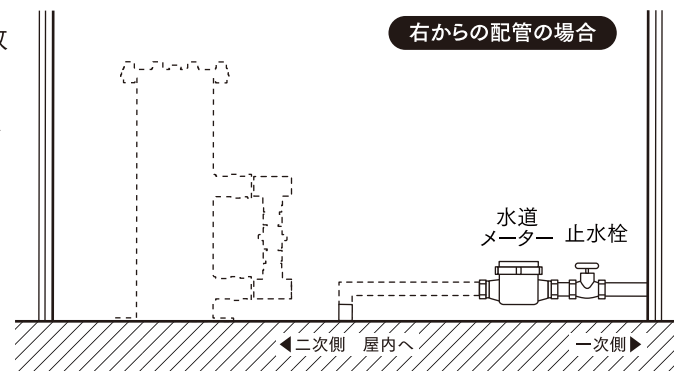
周囲に壁などの障害物がある場合は、下の図に従ってください。



手順①

配管立ち上げ

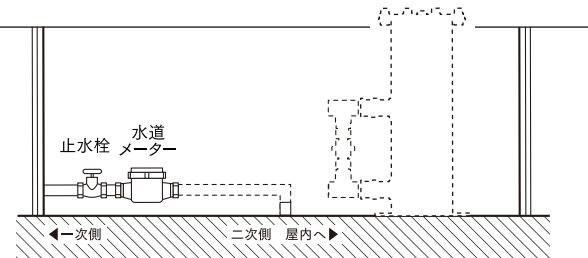
1. PS(パイプシャフト)内の設置可能スペースを確認してください。
2. 止水栓を閉栓し水道管内の圧力を開放してください。
3. 配管の接続方法を考慮して既設配管を取外してください。



POINT ポイント

左からの配管の場合

※既設配管が左からの配管の場合、本体を180度回転させ、配管接続の検討をします。事前に現場調査することを推奨いたします。

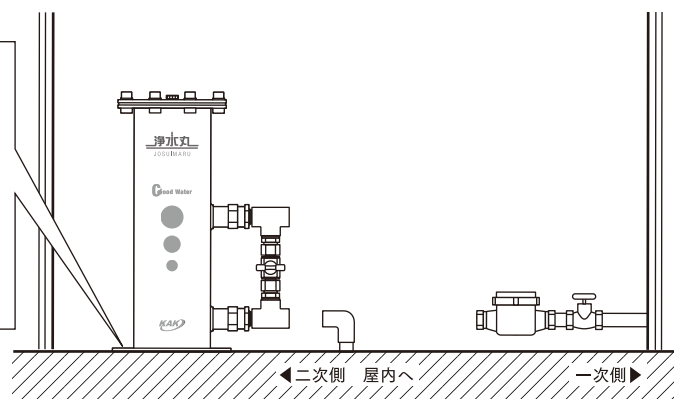
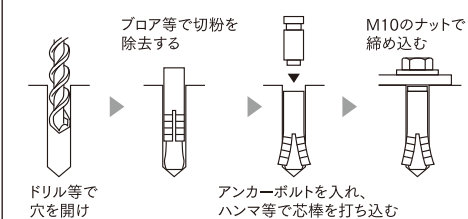


手順②

アンカー打設

1. アンカーを打設し本体を固定してください。
(設置状況に応じて、アングル等を使用してできるだけ配管の高さに接続部を合わせてください。)
- ※アンカーボルトを打設する際は、本体付近のものを傷つけないよう注意してください。
また、固定する際に必ず入水口・出水口の向きに誤りがないよう確認してください。

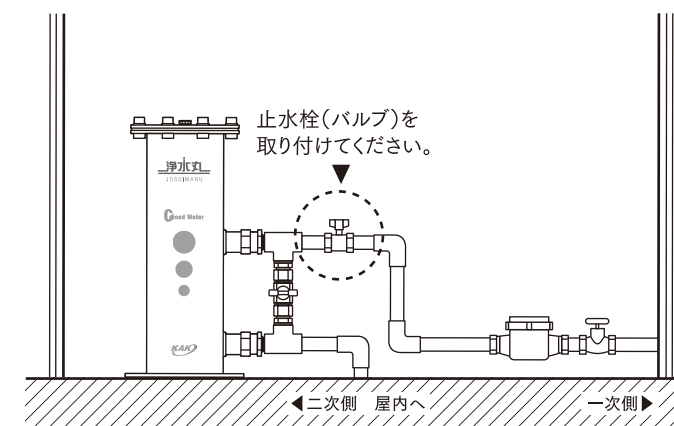
アンカーポイントボルト打設の詳細



手順③

接続部材取付け

1. 本体設置高さ(接続部位置)に合わせて接続部材を取付けてください。
また接続後に再度、本体の水平を水準器で確認してください。
- ※入水口に必ず止水栓(バルブ)を取付けてください。
※入水口・出水口を間違えて取付けると水が出ませんのでご注意ください。



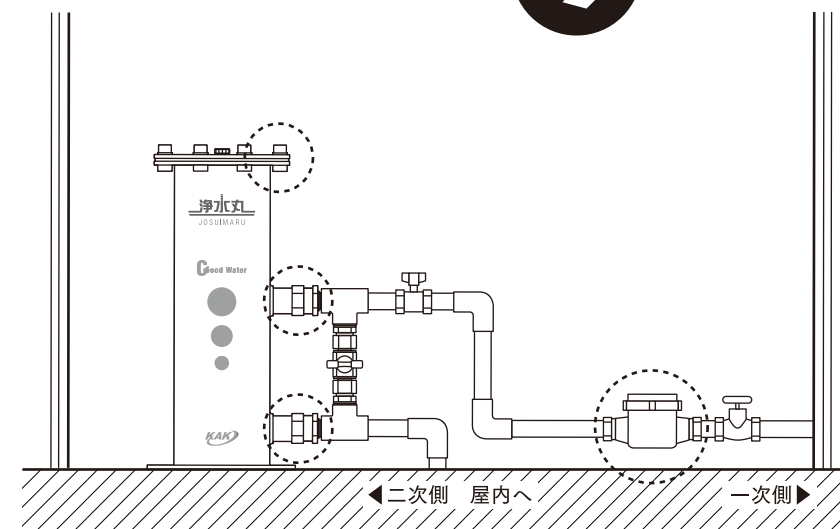
手順④

初期通水漏水検査

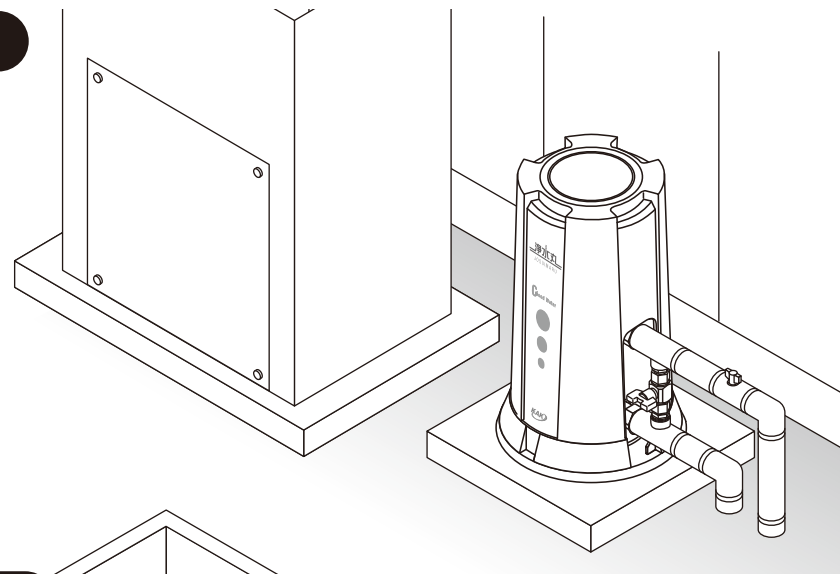
1. 増し締めの後、初期通水(P13参照)を行い、漏水チェックをします。



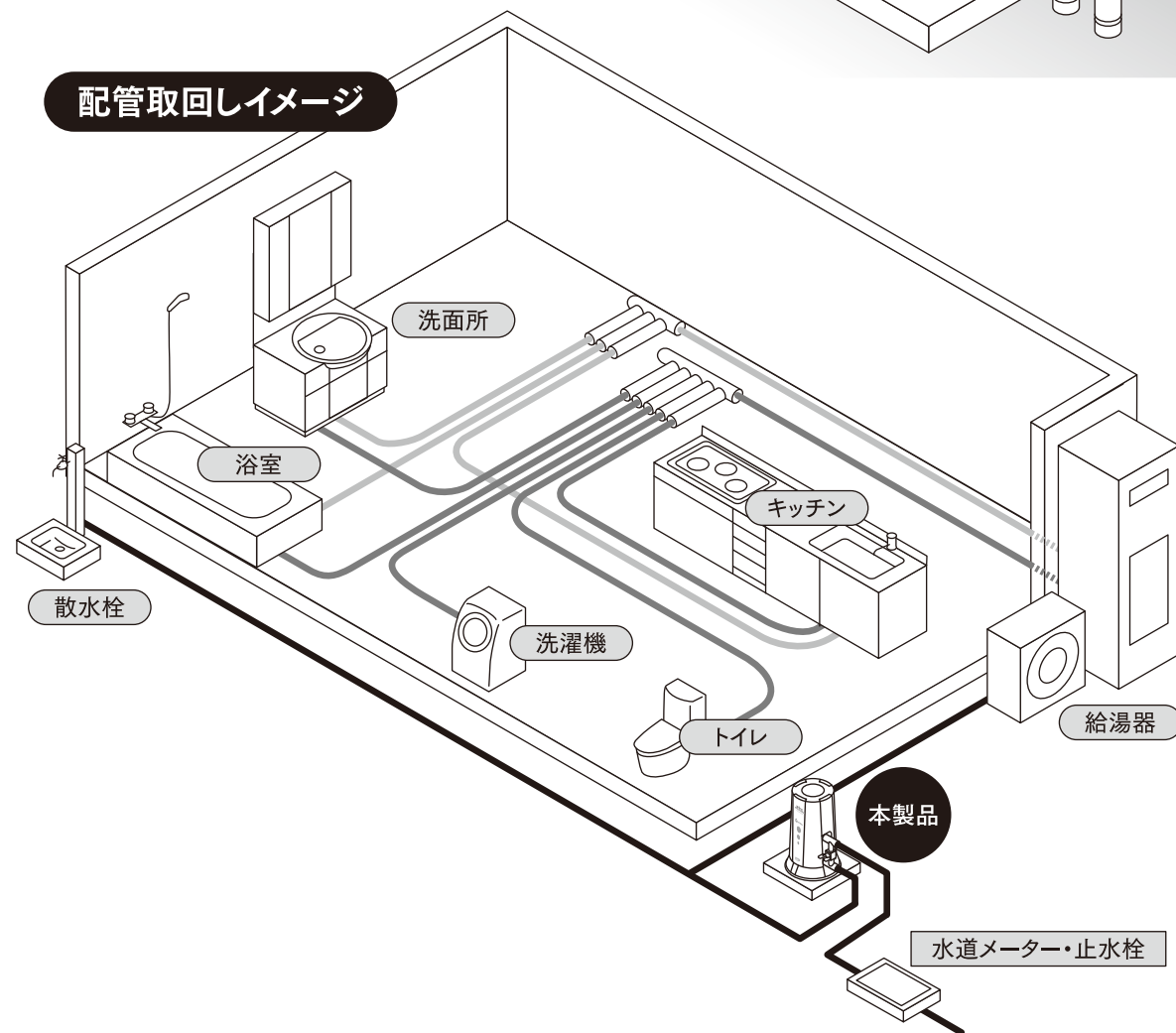
増し締め



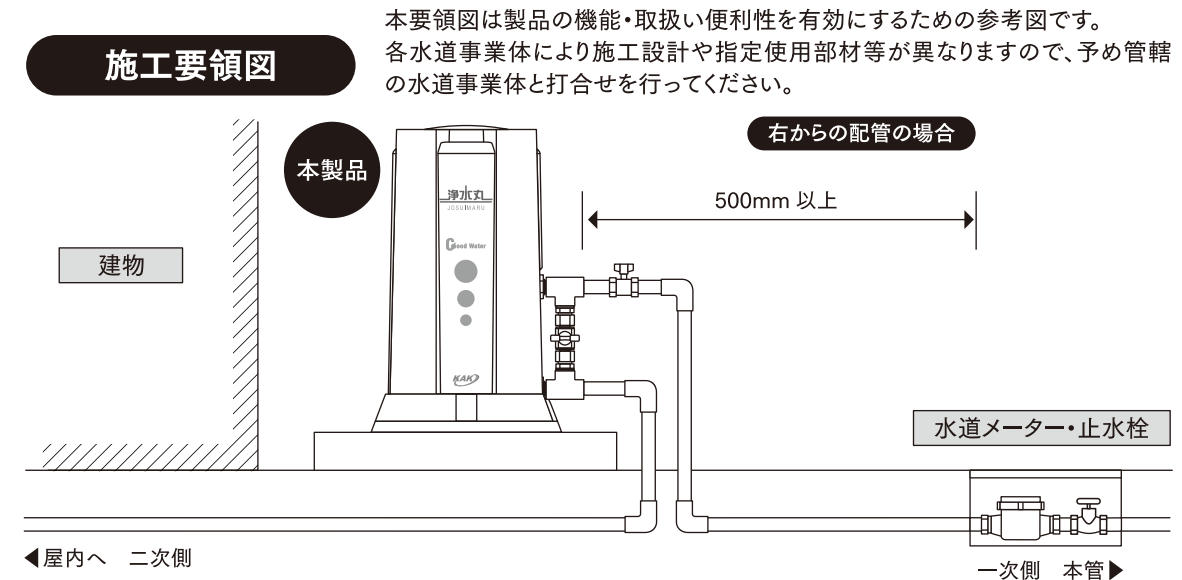
設置イメージ



配管取回しイメージ



施工要領図

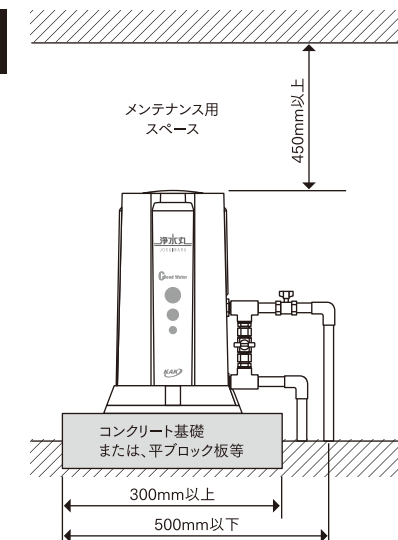


戸建用据え付けスペースの確認
およびコンクリート基礎について

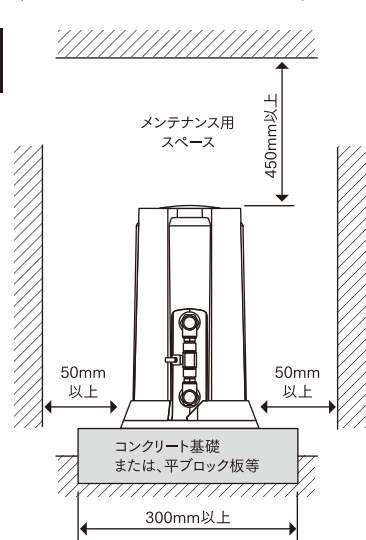
[屋外用の設置所要スペース]

周囲に壁などの障害物がある場合は、下の図に従ってください。
新築工事の場合は、コンクリート基礎に打設してください。
既設工事の場合は、平ブロック板(300mm×300mm×50mm
以上)を使用してください。

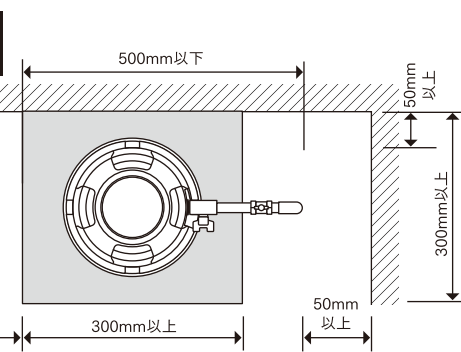
正面図



側面図



上面図

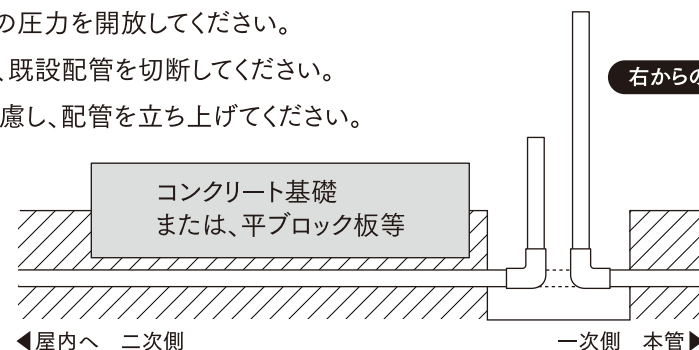


手順①

配管立ち上げ

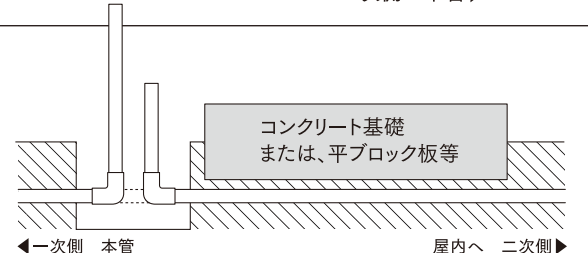
1. 止水栓を閉栓し水道管内の圧力を開放してください。
2. 配管の接続方法を考慮し、既設配管を切断してください。
3. 本体据付位置を十分に考慮し、配管を立ち上げてください。
4. コンクリート基礎を打設、または、平ブロック板等を敷いてください。

右からの配管の場合

POINT
ポイント

左からの配管の場合

※既設配管が左からの配管の場合、本体を180度回転させ、配管接続の検討をします。事前に現場調査することを推奨いたします。

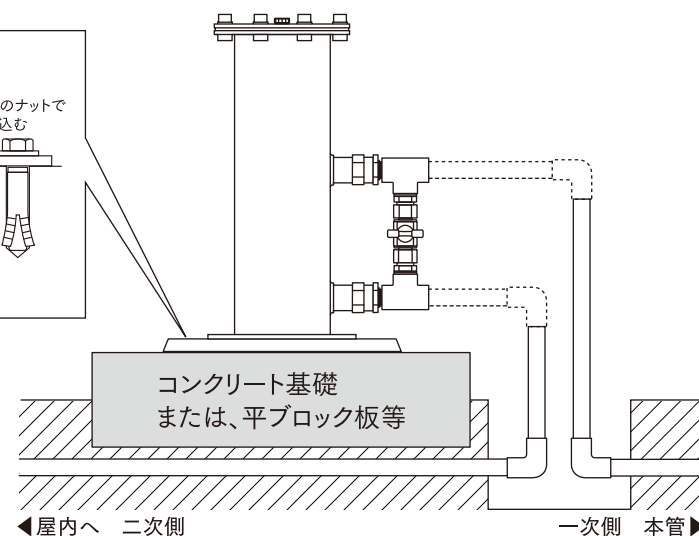
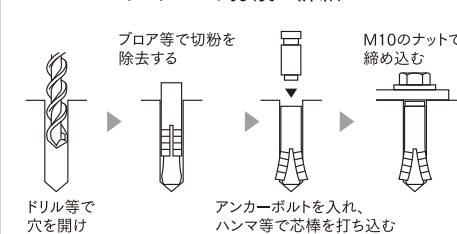


手順②

アンカーボルト打設

1. アンカーボルトを打設し本体を固定してください。
- ※アンカーボルトを打設する際は、本体付近のものを傷つけないよう注意してください。
また、固定する際に必ず入水口・出水口の向きに誤りがないよう確認してください。

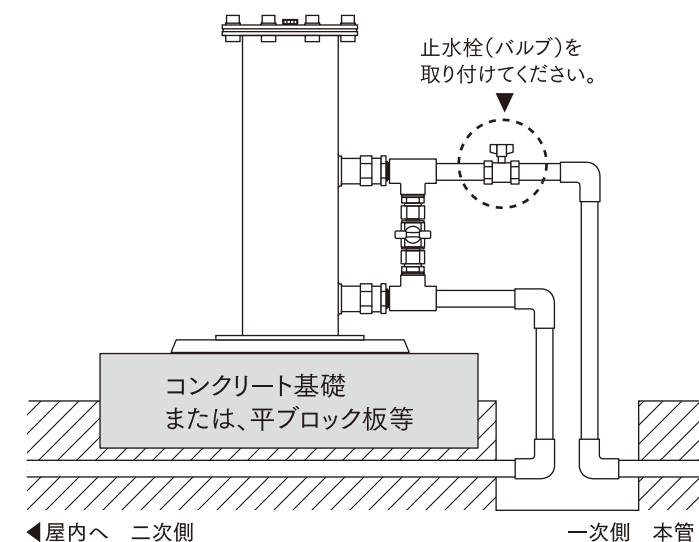
アンカーポイントボルト打設の詳細



手順③

接続部材取付け

1. 本体設置高さ(接続部位置)に合わせて接続部材を取付けてください。
また接続後に再度、本体の水平を水準器で確認してください。
- ※入水口に必ず止水栓(バルブ)を取付けてください。
※入水口・出水口を間違えて取付けると水が出ませんのでご注意ください。



手順④

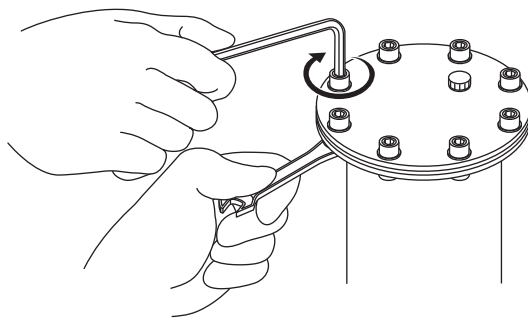
初期通水漏水検査

1. 増し締めの後、初期通水(P13参照)を行い、漏水チェックをします。



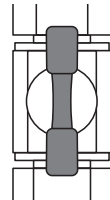
手順①

六角ボルトを増し締めします。



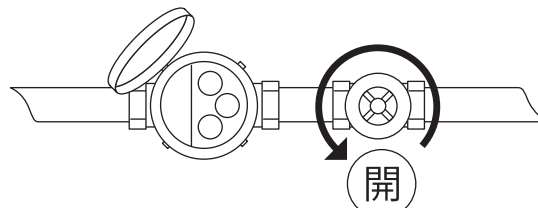
手順②

残留塩素調整バルブが「水道水」の状態であることを確認します。



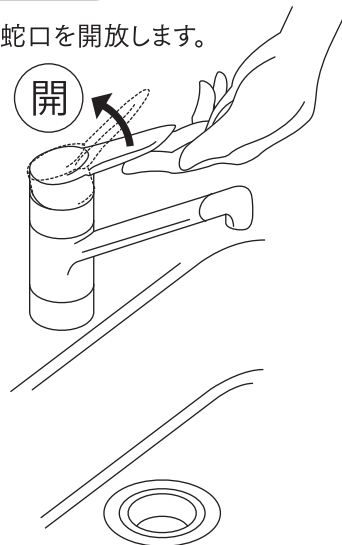
手順④

止水栓をゆっくり開栓し、水を1分程度流してください。



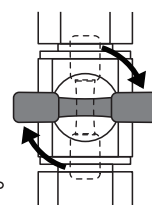
手順③

家の中の蛇口を開放します。



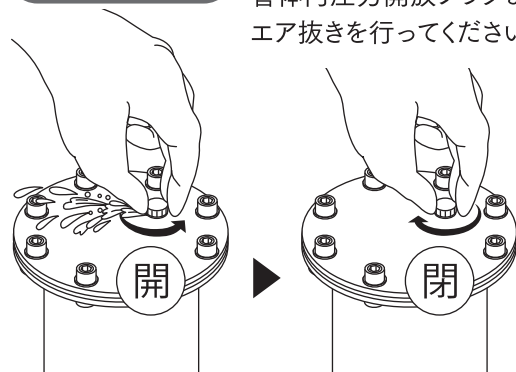
手順⑤

残留塩素調整バルブを時計回りに90度回し、「浄水」に切替えた後、水を3分程度流してください。



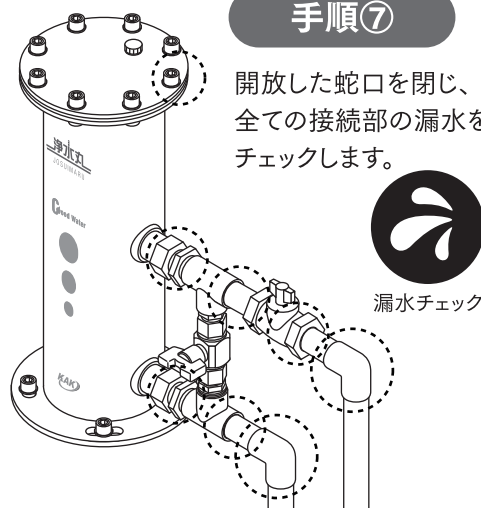
手順⑥

本体上部の管体内圧力開放プラグよりエア抜きを行ってください。



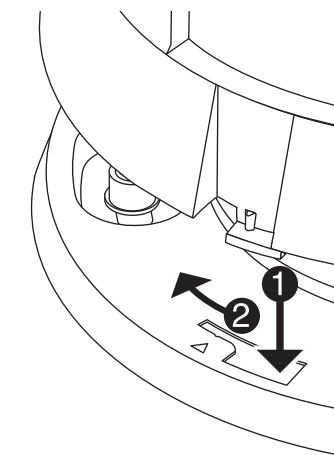
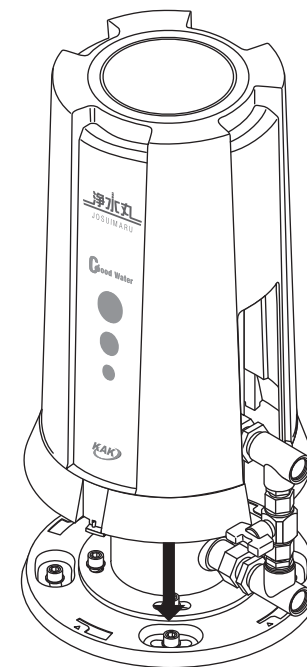
手順⑦

開放した蛇口を閉じ、全ての接続部の漏水をチェックします。

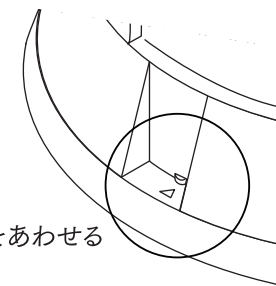


戸建用専用カバーを取付けます。(戸建用のみ)

- ① 垂直に差し込み
- ② 回してロックする。



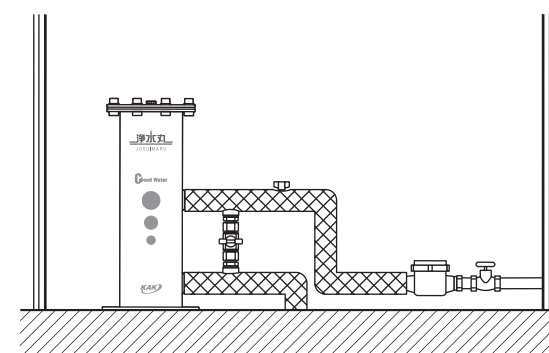
目印をあわせる



配管保温材を取付けます。

初期通水終了後に露出している水道管に保温材を取付けてください。尚、戸建用に関しては、掘り下げた地面を埋め戻してください。

マンション用



戸建用

